

実習の感想

姫路獨協大学

平田真知子

台湾での生活は、こちらに来るまで、私は中国語を話せないし、英語もあまりできないので、どうなるか本当に不安でした。しかし、応用日本語学科の生徒さんを中心に、他の学科の生徒さんもととても優しく、生活で困ったことがあれば、すぐに助けてくれました。

また、とても明るくて積極的な子が多く、応用日本語学科の子はがんばって日本語を使って話しかけてくれましたし、その他の専攻の子も、英語を使って話しかけてくれたりしてくれたため、たくさんの生徒と交流できて本当にうれしかったです。

授業に参加したり、授業を実際にしてみることで、どのようなことにつまづいているのか、どう言えば伝わるのか、どうしてそう考えてしまうのだろうかなど、大学では決して気付くことができないことにも気づきました。改めて自分が使っている日本語を見直す機会にもなりました。

また、私は台湾に来る前に、大学の先生から、「台湾に行った学生は、みんな楽しかった、また行きたい」、「今まで悪い話を聞いたことがない」、と言われていました。台湾に来て、その言葉の意味が良くわかりました。本当にその通りだと思います。

私も、台湾に来たばかりの時は、「中国語が話せないし、台湾に来るのは今回だけになるだろうから、たくさん思い出をつくろう」と思っていたのですが、毎日過ごしていく中で、どんどん台湾の魅力に惹かれていきました。台湾はすてきな所だと、私に教えてくれた先生方、生徒さんたち、その他いろいろな方に本当に感謝します。

余談になりますが、私は台湾での研修がきっかけで、また台湾へ行きたいという気持ちが強まり、無事就職先が決まったら、卒業旅行として台湾に行こう、と大学の友達と話しております。その時に、また先生方、そして生徒のみなさんにお会いできたらな、と思っております。

實習感想

姫路獨協大学

平田真知子

在來到台灣之前，我對自己完全不會說中文、英文也講得沒有很好，這些對在台灣生活會產生什麼樣的影響而感到不安。但是，應用日語系的學生以及其它科系的學生們都很親切，當我生活上有什麼問題時都會馬上幫助我。

這裡的學生個性都很開朗也很積極，我很高興應用日語系的學生們都很努力地用日文跟我溝通，其它科系的學生們也會用英文來跟我交談，讓我能跟許多同學有交流的機會。

透過旁聽課程以及實際實習授課，讓我了解到學生會在怎樣的事情上感到挫折、要怎樣講解才能傳達我的意思、為什麼(學生們)會那麼想等等，這都是我在日本的大學課程裡無法學到的。對我而言這是讓我重新認識自己所使用的日語的一個機會。

另外，我在來台灣之前，老師有跟我說「去台灣實習的學生每人都說實習得很愉快，還想再去」、「到現在都還沒聽過負面的評價」。來到台灣之後，我更了解那番話的意思，真的是像老師說的那樣。

剛到台灣時我一直在想「因為我不會講中文，以後應該也不會來台灣了，所以一定要留下很多回憶」。但是，我卻一天一天地被台灣的魅力給吸引住了。台灣是個好地方，真的非常感謝教導我的老師、學生們、以及跟我接觸過的每位友人。

順帶一提，我和大學朋友聊天時說到，因為這次在台灣實習讓我很想再去台灣，如果順利找到工作，畢業旅行我要去台灣。到時候，希望可以再次見到老師還有學生們。